

室内環境を汚染する真菌類について

板垣国昭・河村 章・數田行雄
遠藤隆二

環境管理技術, 第10巻3号, 131~135 (1992)

室内環境及び食品の真菌汚染について検索を行った結果, 汚染菌の殆どは不完全菌や接合菌の air bone fungi であった.

室内汚染菌のうちアルタナリア, クラドスポリウム及びペニシリウムは, 居間, 浴室, トイレ及び台所の各室内に広く分布しており, これらが主

要な室内汚染真菌であった.

また, 真菌汚染の相談があった食品では, 菓子, チーズ, ジュース, ハム, コンニャク, パン, 米, 味噌及びハチミツなどで, 食品汚染の原因菌と室内環境汚染真菌とがよく一致し施設と食品を交互に汚染していると考えられた.